

いいな

一七会・会報

さわやか大学校
熊本本校第17期
いいな会発行

巻頭言

紅白歌合戦に思う

いいな会 会長 伊津野 豪



今年もこの原稿を2022年正月に書いています。切羽詰まらないと取り掛からない悪い癖は死ぬまで治りません。ところで「いいな会」の皆さんは大晦日の紅白を見ましたか。私はついに見ることを諦めました。楽しくないからです。楽しい前に分からないからです。「ニジュウ」、「YOASOBI」、「まふまふ」、「あいみよん」、「ケツメイシ」、名前からして分からない。歌っている歌も意味はあるのかなのか。創作ダンスも私の眼には同じような動きにしか見えません。

シルバー世代期待のスターたち、水森かおり「いい日旅たち」石川さゆり「津軽海峡冬景色」山内惠介「有楽町で逢いましょう」。いい歌ですがなんと古臭い、色あせた歌を歌うのでしょうか。私たちのカラオケでも既に時効です。特別出演の松平健の「マツケンサンバ」に至っては「またかい、まーだかい」といった感じ。さらに三山ひろしのけん玉ショウウなどがおもしろいのですかね。

新鮮でかわいかったのは上白石萌音ちやんぐらいいでした。とにかく十時ころには寝てしまいました。新しいものについていけない私が悪いのか、世の中が悪いのか。

思うこと、もう一つ。「親ガチャ」という言葉を知っていますか。「ガチャ」はコインを入れると自販機から出てくるカプセル入りのおもちゃの事らしいです。何が入っているのか出てくるまで分から

ない。「親ガチャ」とは子供にとって生んだ親次第で幸、不幸決まってしまうことらしいのです。つまり親の当たりはずれを指している流行語です。生まれてくる子どもが親を選べないのは昔から当たり前のことです。

一人親、特にシングルマザーの貧困率は六割とも言われています。そんな中で育った子供たちにとって「親ガチャ」は行的を得た言葉かもしれませぬ。嫌な流行語ですが現在の格差社会をズバリ表現した言葉のようです。世界中でわずか一パーセントの人たちが全世界の総資産の半分近くを蓄えているという現実。

さて、だからどうすると言われても答えはありません。さわやか大学「いいな会」に残った三十名。仲良く、楽しく、移り行く世の中について生きていきましょう。

『令和三年度のいいな会の歩み』

事務局長 野中 政輝

令和三年度は、新型コロナウイルス感染症拡大「第四波」到来の兆しが迫っていた四月六日(火)に熊本市中央公民館で第十三回定期総会を出席者十六名・委任状提出者十四名の全員参加前年度より五名減って三十名になりましたので、開催しました。

総会で、令和二年度事業経過報告・令和二年度収支決算報告・令和三年度役員選任案・令和三年度事業計画案・令和三年度収支予算案の全てが承認され、順調にスタートいたしました。

ところが、新型コロナウイルス感染症拡大第四波が猛威を奮いだし、六月八日(火)の役員会議は施設の閉鎖により開催できませんでした。

また、夏には「第五波」が到来し、八月三日(火)の役員会議も直前になって

施設が閉鎖され、開催出来ませんでした。

やつと十月になり新型コロナウイルス感染も小康状態となり、十月五日(火)に初めて役員会議を開くことが出来ました。

しかし、この時期になつては十一月に計画していた研修会は準備も出来ませんでした、中止することにしました。ただ、日帰り旅行だけは安・近・短で実施しようとして「紅葉の立神峡を訪ねる旅」を計画し、協議しました。

その結果、十一月三十日(火)に「紅葉の立神峡を訪ねる旅」を実施しました。詳細は『紅葉の立神峡を訪ねる日帰り旅行』のとおりです。

十二月七日(火)に二回目の役員会議を開き、①会報誌の応募について、②新春祝賀会の開催について、協議しました。

②の新春祝賀会については、令和四年一月十八日(火)にユー・パレス弁天で開催することに決定し、参加者を募りましたところ二十名の参加希望がありましたので、年明けの七日にユー・パレス弁天へ最終参加者数の通知と送迎バス依頼を行ったところです。

ところが、年末年始を通じて新型コロナウイルス感染者ゼロが続いていた熊本県内にも変異株オミクロン株がまん延し始めましたので、一月十三日(木)に緊急三役会議を開催して新春祝賀会を中止することを決定し、直ちに参加希望者の皆さんへ中止をお知らせしました。

案の定ついに第六波が到来し「まん延防止等重点措置」が十九日から適用されましたので、二月八日(火)に予定していた役員会議も出来なくなりました。

三月になれば第六波も終息することを期待し、三月十五日(火)に最後の役員会議を開催し、第十四回定期総会の開催について協議することにしていきます。

また、広報担当の方で三月三十一日(木)には、立派な会報誌第十八号を発行できるよう努力中です。

コロナ禍において、事業計画のほぼ六割を実行できたのは、皆さんのご協力あつてのことですが、他期に誇っていないのではないかと思っています。

令和四年度こそは、新型コロナウイルスから解放され、活躍できることを願っています。 二月一日記。



『紅葉の立神峡を

訪ねる日帰り旅行』

交流担当 野中 政輝

令和三年度になって初めて役員会が開催できるようになった十月の役員会で、親睦日帰りバス旅行の具体的内容について提案しました。それは、十一月三十日(火)に密にならないように十分配慮した上で、安くて・近くて・短い日帰り旅行を、マイクロバスを借り上げて、立神峡見物⇩石匠館見物⇩道の駅交流センターで昼食⇩八代松浜軒見物というものでした。

役員会で了承された後、伊津野会長が立神峡管理組合長と折衝された結果、道の駅交流センター「せせらぎ」で一定額以上の食事をすれば立神峡の案内もするし、送迎バスを出すということになりました。

マイクロバス借り上げ料が浮きますし、

その分参加費が安くて済みますので、早速、具体的内容を、午前九時五十分シアーズホーム夢ホール前集合、午前十時送迎バス発車、午前十一時三十分立神峡見物、午前十二時道の駅交流センターせせらぎ到着⇩昼食・入浴、午後二時送迎バス発車⇩石匠館見物、午後三時過ぎシアーズホーム夢ホール前へ到着・解散と修正し、組長さんを通じて会員の皆さんへお知らせし、参加者を募りました。

会員の皆さんも久しぶりに会えることを喜んで参加希望者は二十名になりました。

当日は朝から曇り空で寒くもなく、絶好の行楽日和に恵まれ、楽しい旅行となりました。

午前十一時十五分に立神峡火の国橋駐車場へ到着し、大吊橋を対岸まで歩きましたが、溪谷の紅葉は残念なが

ら過ぎてしまっていました。高所恐怖症の人が恐る恐る戻ってくるのを待って、火の国橋の入り口で記念写真を撮りました。そこからまた歩いて竜神橋という吊り橋を渡って立神峡公園へ行き、キャンプ場・ひかわの郷を散策し、道の駅交流センターせせらぎへ着いたのは正午を過ぎていました。歩行時間六十分・二万歩の運動に快い疲れを感じられた方もあったようです。

十二時三十分からの昼食会になりましたが、一テーブルに三席という会席料理でしたので、美味しい昼食も黙っていただきました。

食後は一四時半に送迎バスが出るといので、ゆつくり入浴する時間も、交流する時間も無かったようです。送迎バスは、五分ぐらい走り、石匠館へ立ち寄ってくれました。

石匠館では館長からスライドショーや

資料の説明が詳しくあり、皆さんも興味深く聴き入っていました。石匠館見物中に雨が降り出し、シアーズホーム夢ホール前までの帰路は雨の中のバス旅行になりました。

コロナ禍で親密な交流はできませんでしたが、久しぶりに顔見合わせての元気な姿を確認し合い、安価で楽しく交流ができた想い出多い良い日帰り旅行が出来たことを喜んでいきます。

火の国大吊橋、揺れて怖かったね！。



立神峡にて 集合写真

龍神橋を渡る宮本さん他



交流センターせせらぎにて昼食会



会員投稿

近況報告

環境について思うこと

すみれ組 宮崎絵美

十二月というのに春のように暖かい午前中。娘と買い物に出かけた。阿蘇方面まで足を延ばして、景色を眺めていたら山の頂に大きく光る集団が見えた。電気の畑とかテレビのコマーシャル等でも目にする光景だ。それは環境に優しいとも言われた。私たちの身近にも割とたくさん見られるようになり、環境に良いと言われるものを身近に見る機会が増えた。その山の近くではさらに広大さが分かった。

もう十年以上も前の事、東日本大震災による福島第一原発での事故のことが頭を過った。資源の乏しいこの国には、どうしても必要とクリーンでより多くのエネルギーが生み出される原発が

すえられた。

そして事故から十年経った今でもなお、あの無残な姿を曝している。電気の畑では、きれいに樹を切り畑のよ

うに土地をならして光る集団の塊が遙々と続いていた。これは大丈夫なんだろうか。目にする風景に対し、ふと疑問に思った。

各地で起こる異常気象、昨年の球磨川豪雨を鮮明に思い出す。もし記録的な想定外といわれる大雨がこの地に降ったなら。地震が起きたなら。大丈夫なんだろうか。熱海の山も大雨で土石流となり静かな街を濁流が襲ったのは、どなたの記憶にも新しいことでしょう。

環境問題つてとても難しいのだなあとも最近とみに巡りの悪くなった頭で考えます。

わずか十代のスイスのグレッタさんが自分たちの為に、これ以上この地球を汚

さないでほしいって声を上げられたニュー
スは誠にすがすがしく大いに賛同を覚
えました。この方の活動がクローズアッ
プされ少しは大人たちも目を覚ました
ろうか。コロナしかり最近の世の中は大
きく軸をずらし始めて人類に不穏な空
気をもたらしつつあるように思えます。

緑深く、水清く、空の青さと、海の広
がりはどこまでも世界は一つと教えてい
るようです。父なる地球、母なる大地
この素晴らしき大宇宙いつまでもと願
い
つつ。
(春の菜の花で癒してハイよ！)



人生九十年を目指して

すみれ組 永松 勝和

昨年末の新聞に日本人の平均寿命
が男性八十一・四歳、女性八十七・四
歳であることが記載されていました。私

は昭和十三年生まれで八十三歳にな
りましたので平均寿命を二歳上廻って
いることを知りました。

今までは年のこと等は考えた事があ
りませんでした。この記事を読み自分
が高齢になった事を自覚する機会にな
りました。これを機に自分の健康につ
いて反省し人生九十年を目標に努力す
ることにしました。そこで自分の現在の
日常生活について自己診断をしてみる
事にしました。診断の内容は一、毎日
の食事、二、体力、三、飲酒にしばって
検討することにしました。

一、食生活について

高齢化に伴い食が細くなり現在は一
日朝夕の二食になりました。

これは、朝食の時に新聞を読む習慣が
身に付き、十一時頃になつてしまいま
す。このため昼食は不要となります。

食事の内容も買いい食いばかりで栄養の

面からも心配しています。

二、体力について

若い時は、スポーツ等で汗を流してお
りましたが現在は全く遠ざかっており
ます。このため現在ではできるだけ家の外
を出歩いて足を使うよう心掛けていま
す。

三、飲酒について

私にとって一番の問題が飲酒の件で
す。ひとり者にとって一番の友人が毎
日のお酒です。病気の時を除き一日も
欠かした事がありません。但し、一回の
酒量は少量で焼酎コップ三杯を厳守し
ております。酒は飲みますが飲まれな
いよう十分注意しております。

大切な紙面をお借りし私自身のはじ
さらしの内容になつてしまいました。が、
九十歳に向けて努力してまいりますの
で、いいな会の皆さまの御指導御鞭撻の
程よろしくお願い申し上げます。

友の死

りんどう組 河野久美子

そろそろ本格的な冬の訪れが近いと思われた十一月のある日、級友の突然の死の報が入りました。弱いと言われセリーグのお荷物だった広島カープの監督として三度の優勝を成しとげた古葉さんです。

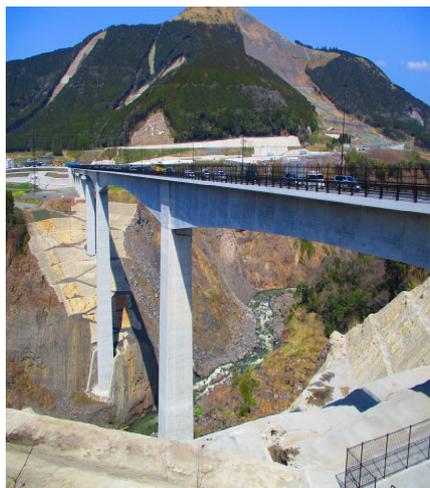
今でこそなかなか切符も取れないカープですが私共がカープ観戦に行った頃は、当日でも入場券が手に入りましたので、子供二人の手を引き、はるばる広島迄野球を見に行きました。友人の配慮で子供二人はバックネット裏の特等席で観戦。決して経験することのない素敵な思い出を作ってくれた彼。亡くなつて初めてその偉大さに驚いておりません。長身で甘いマスクの彼は帰省する毎に級友と逢い故郷で楽しいひと時を過ごし

たようです

。中々女性軍は逢う機会が少なくて風の便りに耳を傾けるこの頃でした。彼の死は私共に何時訪れても不思議ではない「死」と言うものを、身近に感じさせ、覚悟の日々を、改めて自覚させてくれました。

八十五歳。充実した人生を送ったであろう彼が天国でも幸せに暮らしてほしいと願う日々。まだまだやりたい事も沢山あったであろう彼の魂よ、やすらかに祈り願う私です。

(新阿蘇大橋の復活)



ありがとう バース

りんどう組 田島雅美

前回のいいな会会報誌で『私の宝物』で、登場したバースが昨年(2022年)の十月十三日に天寿を全うして十七歳で逝きました。認知症になる事もなく。

『ラブブドールの大型犬で、十七歳は珍しい。良い環境だったんですね』とずっとお世話になっていた動物病院の先生がおっしゃいました。

バースは生後三十日にも満たない子犬の時に我が家にやって来て十七年。正に家族でした。穏やかな性格で人が好き、特に子供が大好きで近くの保育園児の散歩の時は、門の外に出て、ニコニコ表情で触って貰ってました。毎日の散歩の時も、バースを見て寄ってくる小犬からマウンティングされても、顔じゅう舐められても『いいよー』という表情で。飼い主さんからは『バースあり

がとうネ』と言われていました。

バースが亡くなった事を、バースからのお礼の言葉と写真をプリントして門扇にかけていたら、いつも散歩されていた方々から、『バースとお話しするのが楽しみだったんですよ。』と花束をいただきました。

皆から愛され、家族を繋いでいたバースとの思い出の詰まった散歩道をやっと再び歩き始める事が出来つつある今日この頃です。

「バース君からのお礼の写真



「人生を導いた良き師に感謝」

カラー組 古瀬武夫

「こんばんは」。隣家に住む孫の声が玄関から聞こえてきた。金曜日なので勤務先から帰って来たのである。孫は好きな農業を学ぶため、農業高校に入学したのだが、部活で規則を守らない同級生に暴力を振るつたとして、当時の校長先生から退学処分を言い渡された。二年生の学期末のことである。いじめに対して学校側の対応は厳しく、加害者側の言い分はなかなか通りにくい。相手側に幾度となく謝罪したが、許してもらえなかった。

しかし、次年度に校長先生が代わり、今までの経緯を理解し、退学処分を取り消していただき、孫は三年生に進級することができた。ただいじめられた同級生が怖がるという理由で、教室には入れてもらえず、個室での一人学習を

余儀なくされた。それでも孫は無事卒業し、今年の四月から農機具の会社に入社して、今、研修で頑張っている。あの時、校長先生が交代していなければ、今の孫はなかったと思う。私は中学三年当時、家が貧しく、とても高校に進学できる環境ではなかった。

卒業したら集団就職で、東京か大阪の工場で働くことを覚悟していた。しかし当時の担任の先生が幾度となく私の住む長屋を訪れ、両親を説得してくれた。おかげで私は工業高校を卒業し、当時の電電公社(現NTT)に就職することができ、今の生活がある。

私も孫も、良き先生との出会いがなければ、違う人生を歩いていたと、今でもつくづく思う。

※これは、昨年の七月二十四日の熊日新聞の「読者ひろば」に掲載された私の投稿文です。

組長の宮本さんから是非会報誌に出して欲しいとの連絡を受けて、送付する事にしましたので、よろしくお願ひ致します。
(高森のフランキー像)



エイジシュートの思い出!

うめ組 田島恒男

昨年十月十三日に人生初めてのゴルフでのエイジシュート達成しました。エイジシュートとは、自分の年齢より少ないスコアでホールアウトした事です。

六十人位のコンペで、チサン御船CCでのことで、まさかと思いつつ、上がって見たら、七十三と、上出来のスコアでした。支配人からエイジシュート達成の証明書迄頂き感銘しています。

人生これからも楽しくそして健康で過ごしていきたいですね。

会員投稿

文芸コーナー

川柳。肥後狂句。短歌

短歌

すみれ組 宮崎絵美

満月に

始まる今宵のスペクトル

欠けゆく月の何と妙なる

りんどう組 豪ちゃん(伊津野)

肥後狂句

傘(もう来るな)

もう来るな オミクロンなど

アツチ行け

もう来るな 地震台風 オミクロン

もう来るな ストーカーで 訴える

川柳

題(いいな会)

来世まで 一緒にいたい いいな会

10年後 腰は曲がつて あんた誰

元彼の 顔は浮かぶが 名が出ない

題(温暖化)

たき火すら してはいけない 温暖化

子や孫に そのまた孫に この地球

温暖化 冬はいいけど 夏はいや

肥後狂句

うめ組 野中 政輝

温暖化

有明海にや 海苔も消え

温暖化

四季の移り目 消えて行く

もう来るな

オミクロン株 次ぎや要らん

もう来るな

こっちはみんな 接種済

いいな会

十三歳に なったばい



いいな会

まだまだみんな 達者です

いいな会

この繋がりは 良かなあ

いいな会

あと十年は 続けるぞ

編集後記

今年の新年会もコロナ禍の中で残念ながら中止となり、皆様との会話や、お会いすることもままならぬ状況の中、必死にコロナに立ち向かっています。今後も大いに皆さんと共に行動的に健康な毎日が送れますように、日々精進してさわやかいな会が継続できます事をお祈り致します。

文章中の数字や、漢字、句読点等については寄稿文のまま掲載しています。

会報誌 編集員(田島恒男)

インターネットでも(さわやか

いいな会 会報誌第十八号)をカラ

ーで見られます。

(『熊本さわやか長寿財団』のホームページにあり

ます。)